



不知火っ子だより

第 10 号

平成 29 年 9 月 5 日 文責 校長 吉永博美

実りの秋に！ 前期後半が始まりました。

チャレンジ! 40

ひとみ キラキラ
心びかびか
プロジェクト

おかげさまで、大きな事故等なく夏休みが終了しました。夏休み前集会では、「40 日間もある夏休み、新しいことへチャレンジしよう、夢中になることを見つけよう」という話をしましたが、子どもたちの成果はいかがだったでしょうか。お菓子作りや将棋に挑戦した子、英語を頑張った子など、いろいろなことに挑戦した子どもたちがいたようですね。夏休みに充電したパワーで、この秋を実りの秋にしたいものです。

100点満点の夏休み！ ～1年生のはじめての夏休み～

ケガも病気もしませんでした。虫をとったり、水遊びをしたり家でたくさん遊びました。弟の世話や、ひいおばあちゃんのお世話をたくさんしてくれました。にぎやかなところでも、自分のやるべきことを集中してできていました。100点満点の夏休みでした。

＜1年生の保護者さんのおたよりから＞



9月15日（金）は授業参観・祖父母学級

道徳の授業は子どもたちの道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などを養うことを目標にし、週に1時間程度実施しています。「ひとみキラキラ 心びかびか」の不知火っ子を育てるために、とても重要な時間となっています。また、来年度から、道徳教育の質の向上を図るために、「特別の教科 道徳」として、教科としての授業になります。円滑な社会生活を営むためには、さまざまなルール・マナーを身につけ、善悪の判断を行う必要があります。いじめなどの重大な問題も少なくない昨今、ますます道徳教育の必要性は高まっています。

今回の授業参観では、**道徳教育用郷土資料「熊本の心」**を使った授業を行います。「熊本の心」は、郷土の先人の伝記や逸話などから人間の生き方、考え方を共感を持って学び取ることができ、また同時に子どもたちの郷土に対する愛着を深めることができる道徳用副読本です。昭和63年の初版以来、改訂を重ねながら、各学校で子どもの実態に応じて活用されています。保護者の皆さんの中にも、この資料で学習した方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回、各学年で使用する資料は次のとおりです。特に5年生は、本町出身の世界的な画家「マナブ間部」氏を取り上げています。ご家庭でも話題にいただけるとありがたいです。

- 1年・・・「やまのせいくらべ」 主題名：友だちと仲良く 熊本平野一帯に語り継がれている伝説
- 2年・・・「光るえんがわ」 主題名：不とう不屈 小国町出身の細菌学者、北里柴三郎の逸話
- 3年・・・「勝清と彦一とんち話」 主題名：ふるさと 相良村出身の作家 小山勝清の伝記
- 4年・・・「げたをほった子」 主題名：個性の尊重 日奈久出身の彫刻家、田島亀彦の伝記
- 5年・・・「ふたつの祖国から世界へ」 主題名：国際親善に努める 不知火町出身の画家、「ブラジルのピカソ」と呼ばれたマナブ間部の伝記
- 6年・・・「金栗たび」 主題名：創意工夫 玉名出身の「マラソンの父」と呼ばれる金栗四三の伝記

当日、1, 2年生では、おじいちゃん、おばあちゃん方と交流する祖父母学級も予定しています。子どもたちも楽しみにしています。どうぞ ご参加ください。お待ちしております。

※学校ホームページには子どもたちの様子等を随時掲載しています。どうぞご覧ください。

